

2017 年 第 1 回中部近畿合同ラリー一部会 議事録

【開催日時】 2017 年 02 月 19 日 (日) 13:00~16:25

【開催場所】 鈴鹿サーキットホテル ミーティングルーム 4

【出席者】 (敬称略)

中部部会：香川、鮫島、高橋、松浦、田中、船木(記)

中部主催者：MASC(米谷、長坂)、ON!(竜田、安田)

AND(野村、成瀬)、シロキヤ(御領、松田)

近畿部会：梅津、小牧、児玉、岩出

1. 派遣審査委員

	主催者	審査委員長	審査委員
第 1 戦	MASC	井上裕紀子	梅津 祐実
第 2 戦	シンフォニー	西田(MSCC)	長坂 眞澄
第 3 戦	ON!	田中 潤	梅津 祐実
第 4 戦	AND	高橋 浩子	梅津 祐実
第 5 戦	電通大	船越 潤	香川 秀樹
第 6 戦	神大	小牧 靖昌	香川 秀樹
第 7 戦	シロキヤ	長坂 眞澄	小牧 靖昌

※中部派遣の審査委員については暫定。

2. 各競技会情報

【第 1 戦 MASC】

- ・昨年と異なる林道 3ヶ所。SS30km くらい。ターマック。
- ・チャレンジ戦も同じ距離で併催。

【第 2 戦 若狭】

- ・全日本と併催。SS40km くらい。ターマック。
- ・全日本の途中で終わる形。
- ・SSS1.03km あり。

【第 3 戦 いなべ】

- ・スタート会場変更(大安庁舎)
- ・日曜日 1Day。土曜日にセレモニアルスタートとシェイクダウン。
- ・ゴルフ場は今年で最後。堤防沿いでギャラステ予定(約 2km)。
- ・SS30km。ターマック。チャレンジ戦は短目の予定。

【第 4 戦 AND】

- ・例年通りナイトラリー。ターマック。
- ・今年は氷北線なし。サービス会場はキャンプ場。
- ・チャレンジ戦は同じ距離にするかも。

【第 5 戦 丹後半島】

- ・TGRラリー併催。昨年と同じ道。SS36km。ターマック。
- ・地区戦は 2Day 開催。
- ・土曜日は地方選手権のレッキ後、16時スタート、18時頃終了。

- ・エントリー費は宿泊代込み。

【第6戦 神大】

- ・昨年同様、神辺高原周辺で開催。
- ・四国のMACと日程が同じなので、今年はオールターマック。
- ・2ヶ所しか道が無いので、もう一本を探索中。

【第7戦 シロキヤ】

- ・流れと形は昨年同様。
- ・新コースを調整中。8月末に使えるかどうか決まる。
- ・新コースがだめだった場合、昨年の10kmの道を短くして2往復の予定。
- ・SS45～46kmの目標。
- ・チャレンジ戦の距離は検討する。

3. シリーズ共通事項

【重量計測】

- ・中部の重量計（SRSからの借用品）は故障しているので、修理を検討する。
修理代は部会から運営委員会に相談することを考える。
- ・近畿ラリー部会で所有している重量計は有料（¥3,000.）で貸出可能。
- ・RPN車両が「+35kgかつウェイト不可」であることを知らない参加者が多い。
WEBサイトに、特に重量面の規定をよく確認して参加することを掲載し、注意喚起する。

【黄旗】

- ・FIAの規定では「赤旗」になったが、JAFとしてはすぐには規則改定はしない方向。
- ・今年および来年も「黄旗」のままの方向。
- ・「ASNで規則が作れる」と規定されているので、問題はない。
- ・ラリー北海道はAPRCタイトルがかかっているため「赤旗」となる。
- ・孺恋とモンレーは国際格式での開催ではあるが、全日本選手権の方が優先されるので「黄旗」となる。

（後日訂正：FIAの規則ではWRCとAPRC等のみが赤旗の規定となっており、それ以外は従来通り）

【牽引フック】

- ・牽引フックの色は赤、橙、黄とする。（2017年ラリー車両規定第6条）
元々車両に装備されているか、後付けかにかかわらず、牽引フックに上記の色をつける。
- ・車両の底面に装備されている牽引フックにも色をつける。
- ・取り外し可能な牽引フックについては、最低限、競技中は装着してもらう。
（牽引フックが『突起物』に当たるのではないかと疑義との兼ね合いから）
- ・牽引フックの場所を示す矢印については、牽引フックの明確化の目的で明示を推奨とする。
- ・これらの事項を中部・近畿双方の申合せ事項として参加者に告知する。

【シートベルトアンカー】

- ・シートベルトの取付角度については、車両規則に記載されているが、30°でも腰椎の圧迫骨折につながる（衝突時にベルトによって下方に押し付けられる）ため、できるだけ水平に取り付けることが良いことが最近分かってきた。
- ・また、HANSも装着の仕方が悪いと肋骨骨折を引き起こす可能性がある。
- ・部会として、ベルトの正しい装着の仕方等を選手に指導していく。

【タイヤ規制】

- ・2017年については、公表される規則の通りとすることで全主催者合意。

- ・β02の方がSタイヤより高額で、ライフも短い。
ウェット性能は、湿った程度ならβ02が有利だが、路面が川になったらどちらも変わらない。
上記の理由から、九州では今年Sタイヤの使用をOKとした。
- ・車の選択も含め、道具を使うスポーツである以上、それに費用がかかるのは当然という意見あり。
- ・選手の意見も吸い上げて、部会の考えに漏れが無いか確認する。
(第1戦、第2戦でアンケートを取ってみる。アンケート作成必要。)
8月頃までには来年の規定を告知できるように判断していく。
但し、タイヤの規定については多数決では決めない。
- ・ON!としては、タイヤ規制全廃でOK。
但し、規定を頻繁に変えないようにしてほしい。(最低3年は変えないでほしい)

【LED式ライト】

- ・一つの筐体をもって1灯とみなし、奇数の筐体の装着は不可とする。
- ・前照灯は道路運送車両法に従い、前部霧灯は競技車両規則に従う。
- ・現場での最終判断は、各主催者に委ねる。

4. その他

- ・近畿のSSラリーシリーズにおいて、中部地区のラリーもポイント対象として頂きたい。
(近畿の参加者も中部地区のラリーに参加してほしい)
→ 近畿の部会で検討する。
- ・中部、近畿双方の規則内容を揃えていく(可能なら統一規則化)議論を今後行なうことで合意。
- ・ラリーの保険の内容について参加者が理解しているか?
(スポーツ安全保険は対人賠償は付保されない、搭乗者賠償は付保される、等)
本来、規則を理解して参加するのが当然であるため、部会としては特に対応しない。
- ・ポイント計算の迅速化のため、エントラントの所属クラブの地域コードについて、各主催者は審査委員へデータを渡すこと。
- ・各イベントの特別規則書および告知資料は、発行時にラリー部会にも送付すること。
(中部部会への送付先は鮫島事務局長とする)
- ・中部ラリー部会として、今年も定点カメラの設置をして行きたいので、各主催者にはご協力をお願いしたい。
- ・健康管理カードの携帯、およびラリー終了後に競技会の証を外すことについてエントラントに指導していく。
- ・次回の合同部会日程：2017年09月02日(土) 予定。

以上